



薩摩街道(出水筋)  
鹿児島県最後の標識



9 境橋



この橋は西南戦争後の明治十六(一八八三)年に架けられた石造のアーチ橋で肥後石工の卓絶した技術を今に伝えています。この薩摩街道は島津藩の参勤交代の重要な道路でもあり、明治維新の英傑西郷隆盛、僧月照あるいは、幕府の巡見使等多くの人々がここを通過しています。



薩摩街道(出水筋)  
熊本県最初の標識



国道の境橋



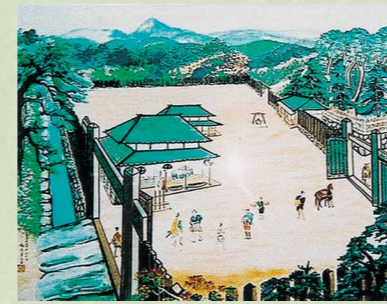
**10 県境の太鼓橋**  
肥薩国境は小さな谷川(境川)で分けられています。藩政時代には橋は架けられていませんでした。飛石伝いに川を渡っていたようで現在でもその名残りの石が残っています。この石橋は明治十六年に架けられた太鼓橋で肥後の石工の手によるものです。国道3号側にも新旧、二つの境橋がありますが、橋の中央に熊本県と鹿児島県を分けるプレートを見ることができます。



東光山公園からの眺望(出水市街地)



野間の関の古井戸



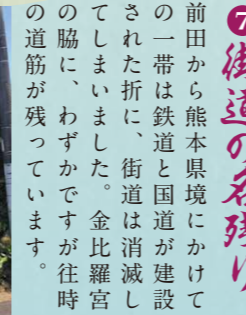
野間の関跡



**5 野間之関跡**  
野間之関は薩摩藩と肥後藩の国境の要地であったこの野間原に関ヶ原の戦いの前後に設置され、藩政時代の領外への主要陸路は、出水筋・大口筋・高岡筋の三筋でしたが、その中でも出水筋は最重要視されていました。藩境の要地・野間之関周辺には六ヶ所に辺路番所が置かれて、水も洩らさぬ厳しさでした。参勤交代も初期の頃を除きこの出水筋を通ったと記されています。



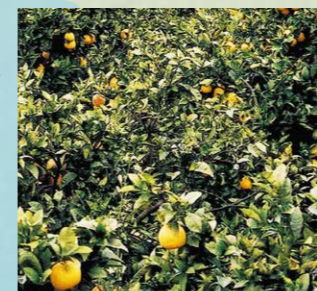
**7 街道の名残り**  
前田から熊本県境にかけての一带は鉄道と国道が建設された折に、街道は消滅してしまいました。金比羅宮の脇に、わずかですが往時の道筋が残っています。



**6 関外丁字路**  
針原には蜜柑がいっぱい!



野間之関



針原には蜜柑がいっぱい!



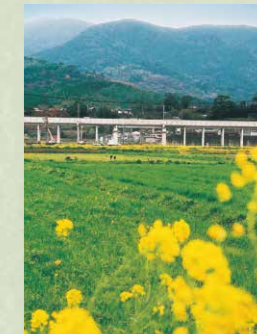
薩摩街道道標(針原)



**4 薩摩二の宮**  
加紫久利神社(式内社)延喜式には薩摩国額姪郡枚間神社(薩摩一の宮)、加紫久利神社は二の宮として代々朝廷の尊嵩厚く信仰の中心でした。御本殿には立派な鶴と亀の彫刻があることから鶴亀神社とも言われています。



**3 仁王像**  
肥薩おれんじ鉄道の踏み切りの台座に乗せられた上半身の仁王像。薩摩二宮。加紫久利神社の山門の始まりで古来は第一鳥居から参道が延び往時の賑やかさを偲ばせる。



**2 菜の花と鶴**  
出水駅からそう遠くない六月田の田圃、菜の花の向こうに数羽の鶴の姿がありました。このあたりで餌をついばむ鶴を見ることはごく普通の風景なのです。



**東光山公園**  
広大な出水平野や遠くは東シナ海、天草の島々が眼下に広がる眺望が見事。春には430本の桜が咲き、花見客などでにぎわいを見せます。



**1 出水駅**  
出水駅

凡例

薩摩街道	— (Red line)
薩摩街道(消滅道)	- - - (Dotted red line)
薩摩街道迂回路	- - - (Dotted green line)
県道・一般道	— (Blue line)
国道	— (Green line)
薩摩街道の道標	— (Yellow line with star)
案内板	— (Yellow line with star)
史跡	☆ (Yellow star)